

# 情報通信館



名称  
情報通信館  
テーマ  
情報通信 都市の夢を広げる  
ロケーション  
浦西万博会場企業館エリア  
敷地面積  
6196平方メートル

## 建築の特徴

情報通信館は中国モバイルと中国テレコムによる共同建築で、高さは20メートルにも及ぶ。構造上、すべてのストラクチャー・コーナーをなくし、スムーズな外形をしている。外壁はイルミネーション・デザインを施し、変化自在のカラー・ブロックとライト・ベルトが豊かな視覚インパクトをもたらす。パビリオン全体から「限りないコミュニケーション」の理念が伝わり、無限な未来生活の絵巻を作り出している。

## 展示ポイント

パビリオンのテーマは「情報通信 都市の夢を広げる」である。劇場スクリーンと特殊効果を借りて、情報通信の応用を展示し、その可能性を展望する。また生き生きとした物語を通じて、未来社会における限らないコミュニケーションのビジョンを来場者に示す。

## ハイライト1

最先端のインタラクティブな体験——来場者がパビリオンに入った途端に、魔法のようなインタラクティブなツアーが始まる。館外の待ちエリアにはドリーム・ガーデンが設けられ、待ち時間を利用して携帯などでインタラクティブ・アクセスができる。展示エリアに入ると見学者は手持ちの末端装置を通して通信発展に貢献した歴史上の人々と対話ができ、ドリーム・シアター内のバーチャル・キャラクターと連動して臨場感たっぷりの視聴覚体験が得られる。

## ハイライト2

グリーン&インテレクトチュアルな対話体験——パビリオンは万博会場内の冷凍水を利用して室内温度を調節し、エネルギーの消耗と廃棄の排出を抑える。主要な建築材はすべて回収し、リサイクル可能になっている。環境にやさしい建築材は、大気汚染や騒音汚染を軽減する。

宇宙館



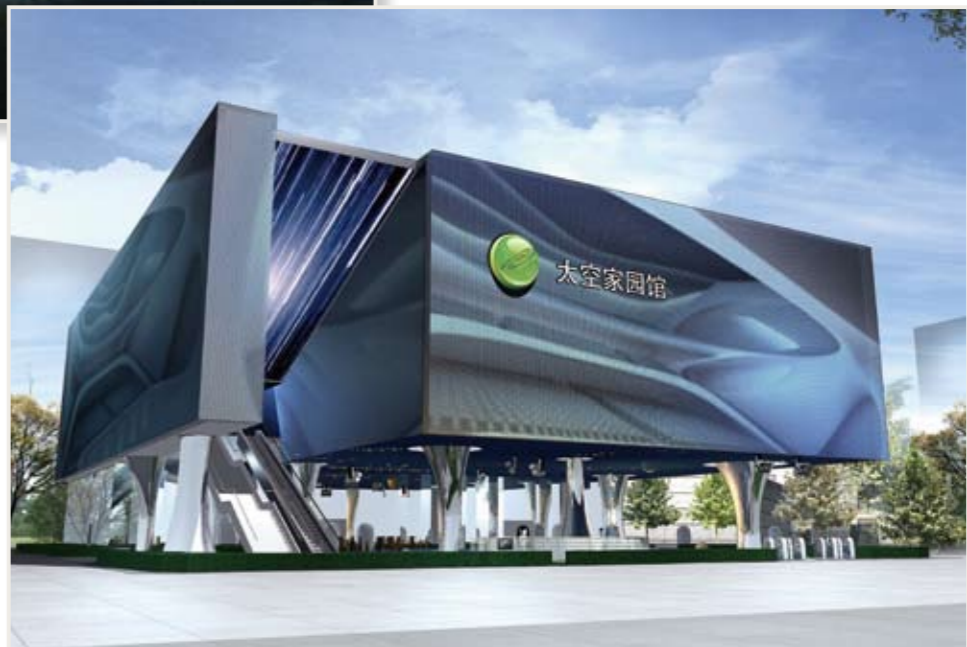
名称	宇宙館
テーマ	調和都市、人と宇宙
ロケーション	浦西万博会場
敷地面積	3000平方メートル

デザイン

幻想的な色彩を持つ宇宙館の外観は  
広大な宇宙に浮かぶ神秘的な「マジック・キューブ」のようである。パビリオンは柱で地面とつながり、空間と交差する感覚を与え、来場者に探索の意欲を刺激する。デザインは「テクノロジー」「エナジー」「スペース」といったコンセプトを簡潔な手法で伝えている。

コンセプト

パビリオンは「天・地・人」をめぐる展開する。「天」は宇宙、「地」は都市、「人」は探索者であり、創造者でもある。これらは、宇宙技術や電子技術が都市の発展や人類生活の改善に寄与したことを具現化する。



プレビュー

デザイナーはパビリオンの内部に来場者への楽しい旅を用意した。そこには発

見もあり、感動もある。「夢の始まり」「スペース・ウォーク」「美しい故郷」といった三つの展示エリアを通して、見学者は人類が宇宙探検の夢を实践する過程を「リアル」に体験できる。

展示ポイント

展示は「夢の始まり」セクションから始まり、来場者に「宇宙館」への限りない期待を与える。

「スペース・ウォーク」セクションでは体験式劇場が設けられ、イマジネーションに満ちたストーリーは来場者の感動を高めるだろう。

「美しい故郷」セクションは「ラウンドヘブン」と「スクエア アース」をコンセプトにしている。「ラウンドヘブン」エリアでは、球形をメイン・エレメントとする宇宙シーンに、模型、実物、マルチテクノロジーを用いて、人類の宇宙探検を展示する。「スクエアアース」エリアでは、現代感あふれる「未来都市」が広げられ、技術化、知能化、情報化社会の美しい生活ビジョンが示され、宇宙探検の目的はよりよい都市生活を実現するためだということを暗示する。